

令和3年度

尼崎の教職員を支援するために

令和3年度事業計画

令和2年度事業報告

尼崎市教育委員会事務局

教育総合センター

学び支援課

令和3年度 『尼崎の教職員を支援するために』

令和3年度 事業計画		ページ
1	教育総合センターの事業について	1
2	研修体系策定の方針	3
3	具体的な取組	4
4	研修をすすめるにあたって	5
5	研修体系図 ※別添参照 P7	6
6	研修一覧表	8
7	研修計画	10
8	研修担当分担表	16
9	文部科学省・県教委等の実施する研修一覧	18
令和2年度 事業報告		
10	令和2年度 研修報告	19
11	令和2年度 研究部会の概要報告	24
12	令和2年度 教科書センター事業報告	27
13	令和2年度 教育情報の収集・整理事業報告	27
資料		
	欠席届（様式3） 学び支援課長 あて	28

1 教育総合センターの事業について

教育総合センターは、一人ひとりの子どもたちに「生きる力」を育てるために、教職員の資質や指導力向上を目的とした教職員研修、学力調査等の調査研究、また、令和3年度からは尼崎市版GIGAスクール（AGS）に関する事業等を担当し学校園を支援している。

以下、本年度の運営方針と事業の概要を示す。

<運営方針>

兵庫県は、令和元年度に教育の基本計画である第3期「ひょうご教育創造プラン」を策定し、その中で、「兵庫が育むところ豊かで自立した人づくり」の基本理念に基づき、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成とともに、教職員の資質と実践的指導力の向上を目指している。

また、本市においては、令和2年度から5年間の教育の方向性を定めた「尼崎市教育振興基本計画」に基づき、「未来志向の教育」「個の尊厳や人権の尊重」「家庭・地域社会との連携（子どもの視点に立った教育）」を柱にした教育行政を進めることとなっている。

教育総合センターでは、県や市の示した方向性に従い、研修体系に基づく教職員研修、学力調査等の研究・分析、新たな教育課題に対する先進的な研究、学社連携事業、教育ICT環境の整備、AGS実現に向けた先進的研究等を通して、教職員の資質や指導力の向上を支援する。

なお、教育総合センターの組織は、【学び支援課】【学校ICT推進課】の2課であり、【学び支援課】は、①研修担当②調査・研究担当③企画担当、【学校ICT推進課】は、①システム担当、②情報教育担当となっており、それぞれが連携を図りながら事業を進めている。

<教職員研修事業>

(1) 教職員研修

教員一人一人のキャリアプランを踏まえた幅広い研修体系に基いた研修を実施する。経験年数や職務・職階に応じた基本研修、教科等の指導力向上をめざす専門研修、時宜で必要とする内容の特別研修等を実施する。

(2) 体罰防止の特別研修

市として体罰再発防止の取組を一層強化する必要性から、外部の専門機関に委託し、令和2年度からの3年間を集中期間として特別研修を実施する。

(3) 学びの先進研究サポート事業

教員自らが探求力を持ち、学び続けることで実践的指導力を高めるために、教員による自主研究グループの活動を補助する。また、先進地域の学校園へ5日間程度教員を派遣し指導力を向上させることを支援する。

(4) 中核市法定研修

中核市として、県の定めた研修以外にも新規採用教員に対して、採用の日から1年間、職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修を実施する。また、中堅教員に対しては、個々の能力・適正に応じた選択研修を取り入れながら、ミドルリーダーとして、学校の中核を担う教員の指導力向上をめざす。

<あまっ子ステップ・アップ調査事業>

教育委員会と学校が児童生徒の学力と学習状況を把握し、教育活動に関する継続的な検証改善サイクルを確立するため、小学1年生から中学2年生を対象に、学力調査と生活実態調査を実施する。また、各校から選任された研究部員による「授業力向上研究部会」において、自校の結果を分析し学力向上の取組を検証するとともに、他校の取組の共有を図る。

あわせて「学びと育ち研究所」は、調査結果のデータを活用し、外部研究員とともに多面的な研究・分析を行う。

<未来の学び研究事業>

社会の変化に伴う新しい教育課題に対する先進的な研究を行い、教職員の指導力向上を図る。特に、AGS実現に向け、ICTを活用した授業方法に関する先進的な研究を進めるとともに、教職員が様々な学習場面でICT機器を効果的に活用した学習活動ができるよう教員の指導体制とICT活用指導力の向上を図る。

(1) 「ICT活用推進部会」

全ての小・中学校がICT活用推進チームを編成するとともに、各校から1名参加する「ICT活用推進部会」において、ICTを活用した授業方法等を研究・共有する。

(2) AGSリーディング・プロジェクト校

モデル校として指定された学校が、デジタル教科書やデジタル教材・アプリ等を活用する独自の取組を支援し、実証研究の結果を市内の学校に還元する。

<教育情報収集・提供事業>

教育活動に役立つ情報を収集・整理して教育関係職員に提供し、教職員の資質の向上に役立てる。また、広報活動を通して、保護者・教職員等への啓発を図る。

- ・「教育あまがさき」の発行（年2回）
- ・「教育総合センターだより」の発行（年4回）
- ・教育図書の間覧、貸出し
- ・「教育情報コーナーからのお知らせ」の掲載（インターネット上で毎月）

<調査研究・教材開発事業>

当面する教育課題について実証的な研究を深めるとともに、研究成果を市内に広め、本市教育の充実を図る。

令和3年度は、「探究的な学習研究部会」において、小学校・中学校・高等学校から代表教員が参加し、探究的な学習の手法の一つである問題解決学習(Problem Based Learning)に取り組み、校種間を越えた学びの展開を研究する。「体力向上研究部会」においては、幼稚園・小学校・中学校の教員が参加し、楽しく運動しながら体力向上につながるプログラム「リズムジャンプ」の研究を行う。

2 研修体系策定の方針

<研修体系について>

尼崎市教育振興基本計画の中の「令和3年度の重点取組」をふまえ、研修を大きく基本研修、専門研修、先進的研究・自主研修、特別臨時研修の4つに分類し実施する。

(1) 基本研修

① 教職年数に応じた研修

教職経験年数に応じた研修を実施する。初任者研修では、中核市である利点を生かし、授業力向上や地域への愛着心を育成する実践等を重点化した内容の充実を図る。また、2年目、3年目も、初任者研修を継続しグループでの授業実践研修を重ね、連続する3年間で「授業で勝負できる教員」の育成を目指す。

② 職階に応じた研修

信頼される学校・園づくりに取り組むために、学校の組織力向上を目的とした職階に応じた研修を実施する。特に、管理職の危機管理研修を充実させる。

③ 職務に応じた研修

中核となる教員の育成をねらいとした学校運営、研究推進、生徒指導、学力向上、危機管理といった多様な研修を充実させる。また、主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業改善の推進をねらいとした研修を充実する。

(2) 専門研修

① 教育課題等への対応研修

いじめ、不登校、特別支援教育、食育、プログラミング教育、情報モラル、校務支援システムの活用等、専門性を高める研修や新しい教育課題の対応に資する研修を実施する。また、子どもの人権にかかる多様な課題の研修を通して教職員の人権意識の高揚を図る。

② 教科等の指導力向上を目指した研修

児童等の学びに向かう力や人間性等の育成、学力向上等を目指し、各教科等における主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実現に向けた保育・授業づくりに関する研修を実施する。また、マイスター教員を含む指導教員を講師とした研修等、若手教員に教育技術の伝達を図る研修を実施する。

(3) 特別に実施する研修

年間計画として当初より予定している研修の他に、緊急性や必要性のある時宜に合った研修を随時実施する。また、指導主事を対象にした研修の実施を検討する。

3 具体的な取組

<教職員の資質向上>

教職員の資質向上を目指し、3つの「尼崎市が求める教員の素養」を掲げ研修に取り組む。

あふれる情熱と責任感

子どもに対するあふれる情熱と責任感のある教師

- ・校長や教頭などの職務、職階に対応した研修
- ・子ども理解のための研修（いじめ防止・不登校児童生徒支援・特別支援教育など）
- ・養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員、学校事務職員などの職責を遂行するための研修
- ・人権問題について学ぶための研修

確かな授業力・指導力・専門性

「わかる授業」を徹底して追究する確かな授業力を持った教師

- ・授業力向上のために授業研究を中心とした研修の充実
- ・教科の指導力向上をめざした研修の充実
- ・ICTを活用した授業力の向上をめざす
- ・若手教員に教育技術の伝達を図る研修の充実（指導教員による研修、公開授業等）
- ・保育園、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校の交流や連携を図る研修

総合的な人間力

総合的な人間力を高め、時代の変化や教育課題に対応し、柔軟に指導できる教師

- ・学校運営の核となるミドルリーダーを養成するための研修
- ・小学校、中学校の教員が互いの授業を公開し協議するなど、指導方法や教材における小中連携を図る研修の充実
- ・地域との連携を図るため、地域を知る研修の充実

<中核市として主体的に研修の充実を図る>

中核市として、国や県の動向をみながら尼崎市にふさわしい研修を実施する。

(1) 初任者研修（法定研修）の充実

- ・授業研究を中心に、道徳教育、人権教育、情報教育、防災教育、安全教育、学級経営及び接遇に関する事など、教員として必要な基礎を身に付ける。
- ・初任者教員が尼崎市での教育活動に情熱を注げるように、尼崎市の地理・歴史・文化等について学び地域への愛着心を育成する。
- ・1年目に引き続き2年目、3年目においてもグループ等での授業実践研修を重ね、連続する3年間で「授業で勝負できる教員」の育成をめざす。

(2) 中堅教諭等資質向上研修（法定研修）の充実

グループによる教科指導や生徒指導の研修から、より専門性と実践力を高めるとともに、尼崎の課題や将来について考える広い視点を持った中堅教員を育成する。

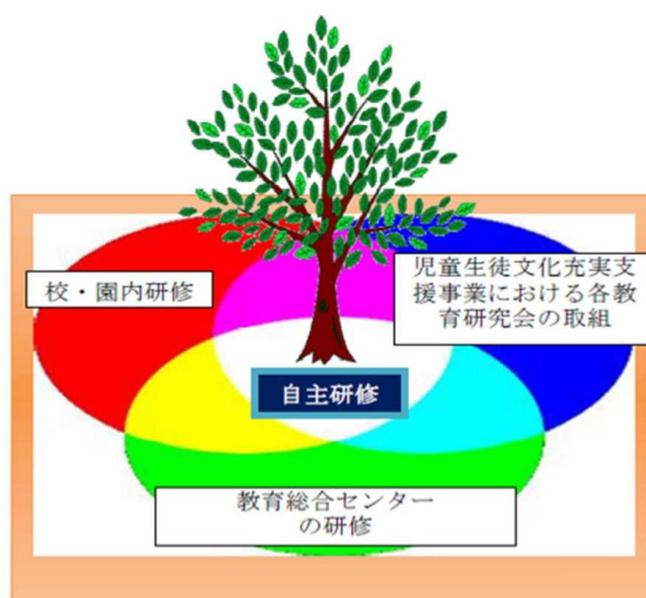
(3) 県主催に加えて市独自に臨時的任用教員の研修を実施し、資質・指導力の向上を図る。

(4) 高校教員の研修参加を促し、資質・指導力の向上を図る。

4 研修をすすめるにあたって

研修には、各校・園の実態に即した「校・園内研修」をはじめ、「教育総合センターが企画する研修」、その他各教科研究会が主体となって企画・運営する研修等がある。それらが補完、連携し合って教員の意欲や資質向上を促していく。

さまざまな研修の延長線上に、教員自身が進んで学び続ける「自主研修」の学びの根っこや栄養分があるといえる。



<教育総合センターの研修と校・園内研修の連携>

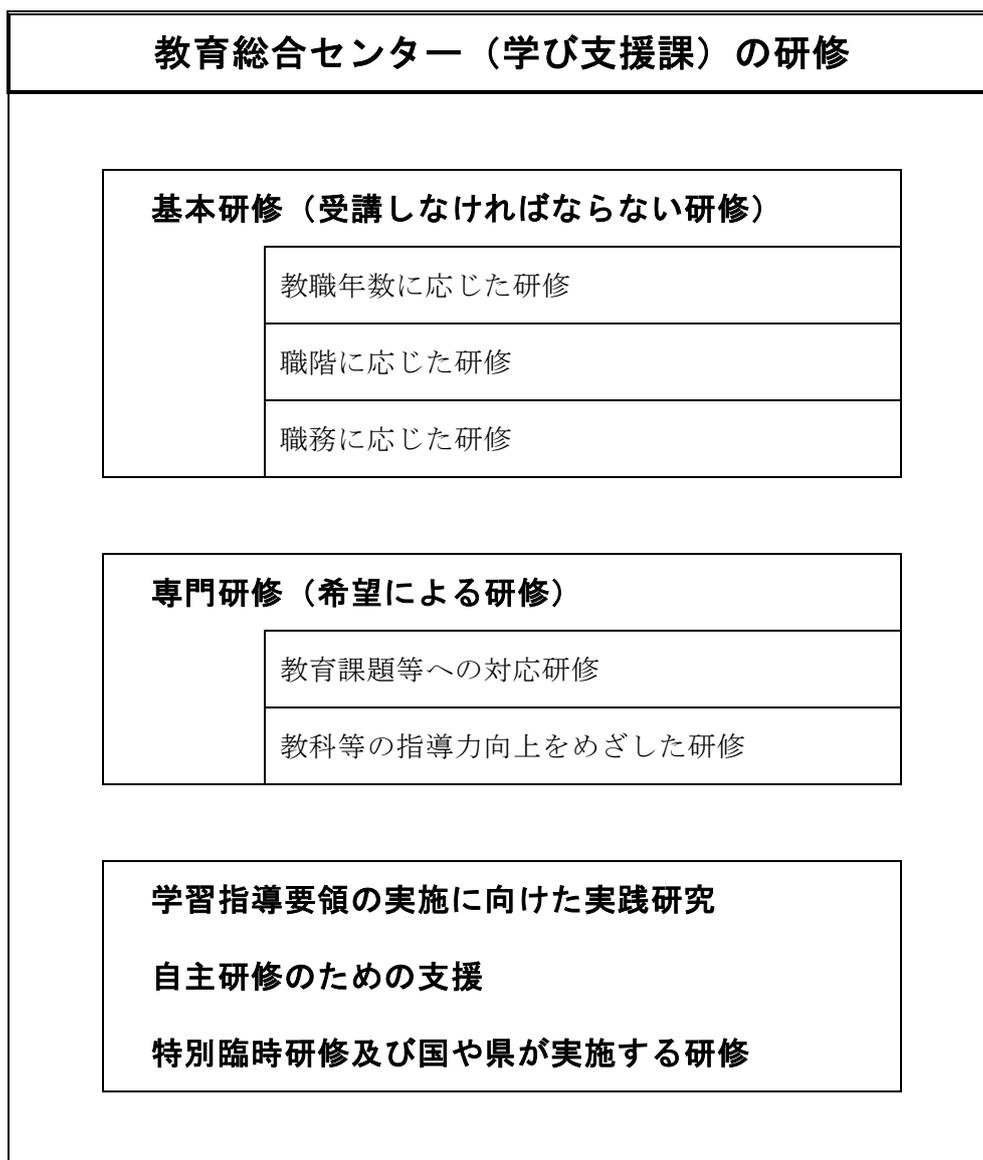
- (1) 授業力向上等に向けて、教育総合センターの研修では、様々な講座を開催し、実践的な研修を実施していく。また、受講した教員は、研修内容を校内に持ち帰り、教科部会等において広めることで、多くの教員の授業力向上等をめざす。
- (2) 授業力向上には、熟練した授業を参観することによる効果は大きい。そのために本市の指導教員が講師になって研修を行う。このほか、指導主事による学校訪問等を通して授業づくりについて支援を行っていく。
- (3) 研究部会や研究会の成果を、公開授業研究発表会や研究紀要によって広く公開する。また、研究部員等が講師となって研究成果の交流を行ったり、ICTを積極的に活用する等、研究成果の共有化を積極的に図っていく。
- (4) 先進的な取組や研究、優れた教員の実践等の資料収集・情報提供の機能を整備し、必要に応じた情報がすぐに手に入るようシンクタンク機能を高め、学び続ける教員の育成を図る。

<教育総合センターの研修と自主研修の連携>

- (1) 教員自らが実践的指導力を高めるための自主研修は、教員の資質向上に向けて最もベースとなる活動である。活動グループや個々のニーズにあった支援の充実を図る。
- (2) 教育情報コーナーにおいて、最新の書籍を含む教育情報、これまでに公開された授業の学習指導案、これまでの研究紀要、教育史に関する資料等を閲覧することができる。また、自主的な研究グループを支援するための研修室を夜間（午後9時）まで開放する。さらに、AMA-NETのホームページより、教員が希望する書籍を申し込むことで、センターに足を運ばなくても書籍を借りることができるようシステムを構築している。

5 研修体系図 (略図)

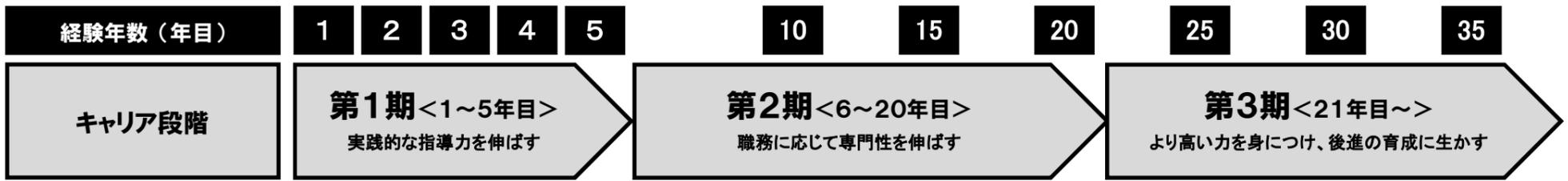
(別添参照)



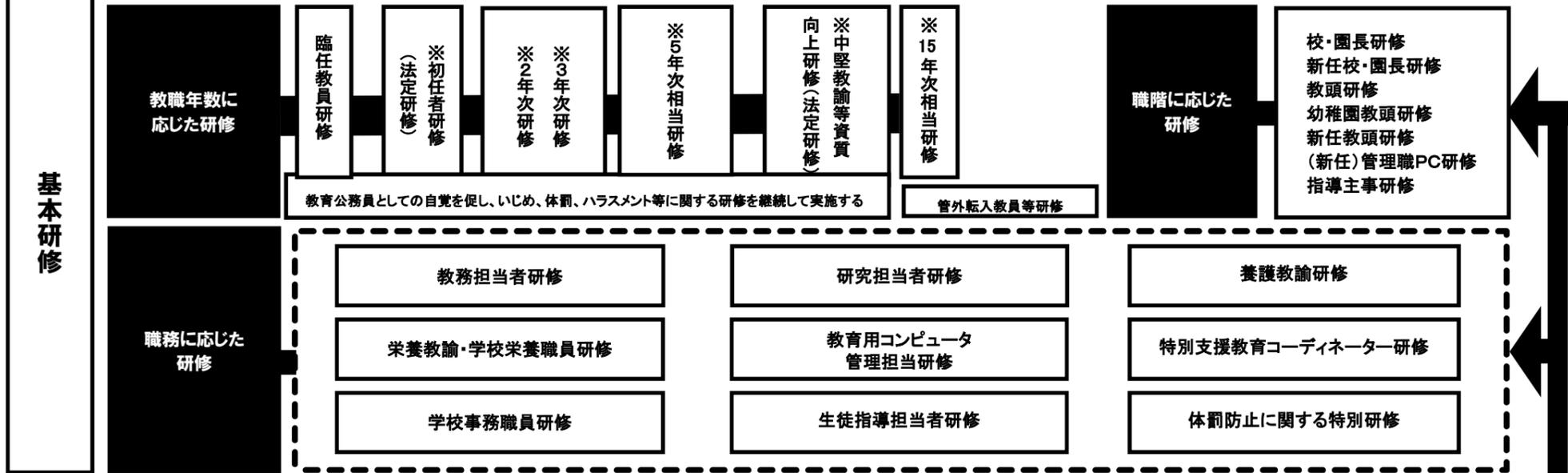
令和3年度 尼崎市教職員研修体系図

基本方針 「一人ひとりを尊重し 互いに支え合う心豊かなたくましい人づくりをめざす」の実現をめざし、次代を担う子どもたちの学びを支える教職員の資質向上を図るため、体系的・組織的な研修を推進する。

尼崎市が求める教員の素養 ①あふれる情熱と責任感 ②確かな授業力・指導力・専門性 ③総合的な人間力



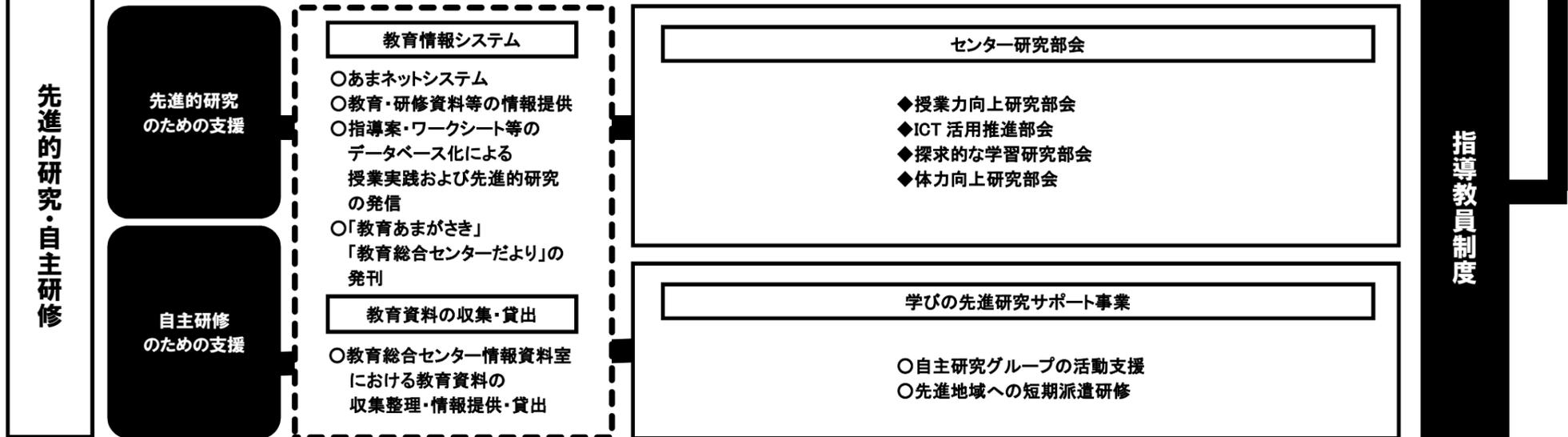
経験年数や職務・職階に応じて必要な資質・能力の向上を図る。 ※国や県が定める研修



教科、領域等の指導に必要な資質・能力の向上を図る。



常に学び続ける姿勢をもち、先進的な課題へ挑戦する。



- 特別臨時研修 及び 国や県が実施する研修**
- ・管理職研修(国)
 - ・独立行政法人教職員支援機構研修(国)
 - ・主幹教諭研修(県)
 - ・兵庫教育大学派遣(国)
 - ・道徳教育実践研修(県)
 - ・学級経営研究会(県)
 - ・生徒指導担当教員等研修会(県)
 - ・幼稚園教育理解推進研修会(県)
 - ・キャリア教育担当教員実践研修(県)
 - ・英語教育地区別研修(県)
 - ・人権教育研修会(県)
 - ・防災教育研修会(県)
 - ・特別支援教育研修会(県)
 - ・情報教育研修会(県)
 - ・学校・園のニーズに応じて実施する研修(市)
 - ・他課と連携して実施する研修(市)
 - ・初任者研修の一部(県)
 - ・拠点校指導教員研修会(県)
 - ・その他喫緊の課題(市)

■ キャリア段階を問わず実施する研修 等

6 研修一覧表

※研修内容は予定です。

種類	中分類	令和3年度 研修・研修講座名	獲得を目指す資質				内容・領域	対象	対象校種		
			責任熱感・	授業力	専門性	対応力					
受講しなければならない研修（基本研修）	応じたに研修	校長研修	○			○	危機管理事例研修	校長	小・中・高・特		
		園長研修	○			○	園経営課題研修	園長	幼		
		新任校・園長研修	○			○	校・園長の職務	新任校・園長	全校種		
		教頭研修	○			○	学校経営課題(教員の育成 OJT) 幼稚園教諭対象	教頭	全校種		
		新任教頭研修	○			○	実務に関する対応研修(シリーズ)	新任教頭	小・中・高・特		
		(新任)管理職コンピュータ研修				○	ネットワークを利用した校務処理	新任校長・教頭	全校種		
	職務に応じた研修	教務担当者研修	○			○	地域に開かれた教育課程、カリキュラムマネジメント				
		研究担当者研修	○	○	○	○	校内研究の推進方法	各校より選任	小・中・特		
		生徒指導担当者研修	○			○	いじめ予防研修				
		養護教諭研修				○	養護教諭の職務等に関する研修	養護教諭	全校種		
		栄養教諭 学校栄養職員研修				○	栄養教諭の職務等に関する研修	栄養教諭 学校栄養職員	全校種		
		特別支援教育コーディネーター研修				○	特別支援教育の充実を図るための研修(実践交流)	特別支援教育 コーディネーター	全校種		
		学校事務職員研修				○	学校事務職員の職務等に関する研修	学校事務職員	全校種		
		教育用コンピュータシステム管理担当研修				○	教育用コンピュータシステムの管理と運用	担当教員	小・中・高・特		
		体罰防止研修	管理職				○	○	体罰防止マネジメント研修	校・園長、教頭	全校種
			部活動				○	○	体罰防止指導方法研修	担当教員	
	教職員					○	○	体罰防止アンガーマネジメント・ストレスコントロール研修			
	教職年数に応じた研修	臨時的任用教員等資質向上研修	第1回	○			○	尼崎市の教育事情、授業と評価	臨時的任用 教員等	小・中・特	
			第2回	○			○				
		1年目教員必修研修	第1回	○			○	○	1年目教員	小・中・特	
			第2回	○			○	○			
			第3回		○		○	○			
			第4回		○		○	○			
			第5回	○			○	○			
			第6回		○		○	○			
第7回			○			○	○				
第8回				○			○				
第9回				○		○	○				
第10回						○	○				
第11回				○		○	○				
第12回			○	○		○	○				
2年次教員研修	共通研修 グループ		○		○	○	2年目教員	小・中 特・高校			
	グループ		○								
	グループ		○								
	選択研修		○								
	共通研修		○								
異校園種交流研修(特別支援学校・高校)			○			異なる校・園種との連携(授業参観、TTIによる授業実践研修等)					
3年次教員研修	共通研修 グループ		○		○	○	3年目教員	小・中			
	グループ		○								
	グループ		○								
	選択研修		○								
5年次相当教員研修	選択研修		○		○	○	3年次研修 修了者 (4・5年目教員)	小・中・特			
中堅教諭等資質向上研修	共通研修				○		10年経験者教員 (11年目教員)	小・中・特			
	選択研修		○		○						
15年次相当教員研修	選択研修		○		○	○	15年目教員 (15年次相当教員)	小・中・特			
管外転入教員等研修		○			○		管外転入教員 新規採用管外 教職経験者	小・中・高・特			

種類	中分類	令和3年度 研修・研修講座名	獲得を目指す資質				内容・領域	対象	対象校種	
			責任感・	授業力	専門性	対応力				
希望による研修 (専門研修)	教育課題等への対応研修	人権教育研修講座	(1)		○	○	多文化共生について	全教職員	全校種	
			(2)		○	○	LGBTQ			
			(3)		○	○	子どもの権利条約			
			(4)		○	○	ヤングケアラー			
		一般教養研修講座			○		「新聞記者になろう」	全教職員	全校種	
		学校飼育動物研修講座			○		小動物の取り扱いについての留意点	担当教員	幼・小・特	
		情報モラル・セキュリティ研修講座			○	○	モラル・セキュリティ入門	全教職員	全校種	
		校務支援システム研修講座	小学校編			○		各種名簿作成、日々の様子、生徒指導等	全教職員	小・特
			中学校編			○			全教職員	中・特
		ICT活用研修講座			○	○	クローズドブックの基本的な操作・活用	全教職員	小・中・特	
		プログラミング教育研修講座			○	○	小学校プログラミング教育 入門編	全教職員	小・中・特	
		食育研修講座			○		成長期の食について	全教職員	全校種	
		就学前教育研修	第1回			○	○	就学前教育について【理論編】	就学前教育にかかわる幼稚園、保育園・保育所教員、および小学校教員	幼・保・小
			第2回			○	○	就学前教育について【実践編】		
		子ども理解のための研修講座	(1)			○	○	「ゲートキーパー入門講座・子どものSOSをキャッチする」	全教職員	全校種
			(2)			○	○	不登校を防ぐための人間関係づくりを大切にしたいクラス経営		
		インクルーシブ教育研修講座			○	○	インクルーシブ教育をふまえた学校づくり	全教職員	全校種	
		学級集団づくり研修講座	学級経営	○		○	○	学級経営の基本を学ぶ	全教職員	全校種
			野外活動体験			○	○	野外活動に関する体験研修		
	授業力向上研修講座			○			「授業デザイン 3つの視点」活用術	全教職員	小・中・高	
	道徳教育研修講座			○	○		「教科」時代の道徳科授業を創る	全教職員	全校種	
	国語科教育研修講座			○			主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業について	全教職員	全校種	
	図書館教育研修講座			○			学校における多様な読書活動の展開	全教職員	全校種	
	社会科教育研修講座			○			授業実践「ポットラックパーティー」	全教職員	全校種	
	算数科教育研修講座			○			(小学校教員向け)楽しい算数授業の創り方	全教職員	全校種	
	数学科教育研修講座			○			(中学校教員向け)「主体的に学習に取り組む態度」の評価	全教職員	全校種	
	理科教育研修講座			○			実験や観察で気をつけたいこと	全教職員	全校種	
	アプローチ・スタートカリキュラム研修講座 (幼児期と児童期の接続期教育研修講座)	(1)		○			(生活科に関すること)生活科授業デザインの方法とその実際	全教職員	全校種	
		(2)		○			(造形に関すること)色・形・手触りを楽しむ	全教職員	全校種	
		(3)		○			(音楽に関すること)音を楽しむ	全教職員	全校種	
	幼児教育研修講座	(1)		○			特別支援教育の視点に立った幼児教育	全教職員	全校種	
		(2)		○			絵画実技指導			
		(3)		○			音楽実技指導			
	音楽科教育研修講座			○			表現と鑑賞の指導について	全教職員	全校種	
図工・美術科教育研修講座			○			「主体的・対話的で深い学び」につながる導入の在り方	全教職員	全校種		
体育科教育研修講座			○			リズムジャンプ指導法	全教職員	全校種		
外国語・英語科教育研修講座			○			児童・生徒の自己肯定感を高める英語授業	全教職員	全校種		
特別活動研修講座			○			特別活動の指導のあり方	全教職員	全校種		
技術科教育研修講座			○			プロダクト技術、計測制御の実習	全教職員	全校種		
家庭科教育研修講座			○			キャッシュレス決済の種類と仕組み	全教職員	全校種		
幼稚園研究会との連携研修			○			幼稚園研究会との連携研修	全教職員	全校種		
小中学校教科等研究会との連携研修			○			小中学校教科等研究会との連携研修	全教職員	全校種		
教育総合センター研究発表会			○			各研究部会による研究発表	全教職員	全校種		
特別研修			/	/	/	課題に対応した研修				
自主的研究	研究部会			○	○	授業力向上部会	担当教員	小・中		
						ICT活用推進部会		小・中・特		
						探求的な学習研究部会		小・中・高		
						体力向上研究部会		幼・小・中		
	学びの先進研究サポート事業			○	○	自主研究グループ支援 短期派遣研修	全教職員	全校種		

7 研修計画

※研修内容は予定です。

1 受講しなければならない研修（基本研修）

(1) 職階に応じた研修（職階別研修）

研修・講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	対象	備考
校長研修	第1回	管理職として、広い視野と洞察力の上に立って今後の学校経営の在り方を考える。	性暴力被害研修	校長	講話
	第2回		危機管理事例研修		
園長研修	未定		園経営課題研修	園長	講話
新任校・園長研修	未定	管理職としての職務（学校経営、管理運営、職員育成）について理解を深め、望ましい学校・園経営の在り方を考える。	校・園長の職務	新任校長 新任園長	講話
教頭研修	未定	管理職としての職務について理解を深め、効果的な学校経営の在り方を考える。	学校経営課題（教員の育成 OJT） 幼稚園教諭対象	教頭	講話
新任教頭研修	定例教頭会終了後等	管理職としての基礎的な実務について理解を深める。	実務に関する対応研修（シリーズ）	新任教頭	講話
(新任)管理職コンピュータ研修	未定	情報社会に対応した基本的資質と指導力を養うとともに、尼崎市学校情報通信ネットワークシステムの有効利用を図る。	ネットワークを利用した校務処理	新任校長 新任教頭	演習

(2) 職務に応じた研修（職務別研修）

研修・講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	対象	備考	
教務担当者研修	未定	教務担当者としての職務と職責を学ぶ	地域に開かれた教育課程	教務担当者	講話 及び 演習	
研究担当者研修	7/26	研究担当者としての職務と職責を学ぶ	校内研究の推進方法	研究担当者		
生徒指導担当者研修	未定	生徒指導上の課題について、組織的に対応する力の向上を図る。	いじめ予防研修	生徒指導 担当者	講話	
養護教諭研修	7/15	学校保健の中核的役割としての職務を理解し、現代的な健康課題への対応力を高める。	養護教諭の職務等に関する研修	養護教諭	講話	
栄養教諭研修 学校栄養職員研修 ※食育研修講座を兼ねる	未定	子どもの食に係る課題を認識し、理解を深めるとともに、食育の指導力を高める。	栄養教諭の職務等に関する研修	栄養教諭 学校栄養職員	講話	
特別支援教育 コーディネーター研修 ※インクルーシブ教育研修講座を兼ねる	未定	特別支援教育についての理解を深め、コーディネーターとしての指導力の充実を図る。	特別支援教育の充実を図るための研修(実践交流)	特別支援教育 コーディネーター	講話	
学校事務職員研修	未定	財務会計システムの使用について、共通認識をもつとともに、疑問点を解決する。	学校事務職員の職務等に関する研修	学校事務職員	講話	
教育用コンピュータシステム 管理担当研修	未定	教育用コンピュータシステムについて理解を深めるとともに、管理と運営に関する知識や技術を習得する。	教育用コンピュータシステムの管理と運用	小・中・高・特支学校の 教育用コンピュータ 管理担当教員	講話 及び 演習	
体罰防止研修	管理職	7/30	学校・教育現場における体罰防止等に対する意識の改革、意識の醸成等を行うための、マネジメント能力の向上を図る。	体罰防止マネジメント研修	校・園長、教頭	講話
		11/30				
	部活動	8/4	環境等を総合的に考えて、適切に部活動を実施するための指導力向上を図る。	体罰防止指導方法研修	担当教員	講話
		12/1				
	教職員	8/5	体罰防止等に対する意識改革、意識の醸成、意欲向上を図る。	体罰防止アンガーマネジメント・ストレスコントロール研修	担当教員	講話
12/2						

(3) 教職年数に応じた研修（経験年数別研修）

研修・講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	対象	備考
臨時的任用教員等資質向上研修	第1回	未定	教育公務員としての服務等基本的な事項を確認するとともに、本市の現状と重点取組について学ぶ機会を設け、指導力の向上等、教職員としての資質の向上を図る。	小・中・特支学校の臨時的任用教員等	講話
	第2回	未定			
1年目教員必修研修	第1回	5/11	本市の教員としての自覚を促し、教員としての資質・技能の向上と実践への意欲を高める。	尼崎の教育、ICT（環境・教育）、接遇	幼・小・中・高・特支学校の初任者
	第2回	5/25		救急救命法、体験研修、学級経営	小・中学校の初任者
	第3回	6/15		あまよう特別支援学校の授業参観、体験研修、教育における合理的配慮について、授業のユニバーサルデザイン化	
	第4回	6/29		校務支援（評価等）、情報モラル教育、「特別の教科 道徳」の指導	小・中・特支学校の初任者
	第5回	7/6		学校事故・アレルギー疾患への対応への基本ティーチャーズ・トレーニング	小・中学校の初任者
	第6回	8/2		特別活動（クラブ活動を含む）、授業実践研修②	中・特支学校の初任者
		8/3		プログラミング教育について教科の指導	小・特支学校の初任者
	第7回	8/31		尼崎の地域・歴史・尼崎城 他	小・中学校の初任者
	第8回	9/7		生徒指導について授業実践研修	
	第9回	9/14		カウンセリングマインドに基づいた教育相談の意義と役割、教科の指導、授業実践研修	
	第10回	10/5		尼崎の人権教育、LGBTについて教科指導におけるICTの活用	小・中・特支学校の初任者
	第11回	11/9 11/16		授業実践研修	
	第12回	1/25		魅力ある授業づくりについて授業実践研修	小・中学校の初任者
	第13回	2/1		他業種に学ぶ、授業実践研修	
第14回	2/8	校務支援（評価等）、情報モラル教育2年次研修に向けて、学習評価			

研修・講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	対象	備考
2年次教員研修	6/2	<p>初任者研修の成果を踏まえ、基本的な指導技法の活用しながら授業を充実させる力の習得を図るとともに、心の健康を保ちつつ学び続ける教員としての基礎となる資質の向上に資する。</p>	研修の概要、授業づくり グループ授業実践研修①	小・中学校の 2年目教員	講話
	7月～ 2月		グループ授業実践研修② グループ授業実践研修③ (公開授業)		授業
教科等の研修講座を3つ選択して受講する			講話 及び 演習		
異なる校・園種との連携 (ITによる授業及び実践等)			授業		
異校園種交流研修 (特別支援学校・高校)	7月～ 2月			特支学校・高校の 2年目教員	
3年次教員研修	6/16	<p>初任者研修、教職経験者（2年次）研修の成果を踏まえ、児童生徒理解に基づき意図的・計画的に生徒指導を行う力の習得を図るとともに、課題意識に基づく授業の工夫改善とカリキュラムを構想する力の習得を図り、学び続ける教員としての資質向上に資する。</p>	ポジティブ行動支援 研修の概要、授業づくり等 グループ授業実践研修①	小・中学校の 3年目教員	講話 及び 演習
	7月～ 2月		グループ授業実践研修② 実践交流、指導案の検討 等		授業
			グループ授業実践研修③ 公開授業、事後研究会		授業
			教科等の研修講座を1つ選択して受講する		講話 及び 演習
5年次相当教員研修	通年	これまでの教育実践を踏まえ、指導力向上を図るとともに各自の課題を把握し今後の教員生活の充実に資する。	希望による研修講座から1日分を選択して受講する	小・中・特支学校の 5年目教員（養護及び 栄養教諭等）及び 希望対象者	
中堅教諭等資質向上研修	5/12	<p>個々の能力や適性、ニーズに応じて研修を実施し、指導力向上など教員としての資質の向上を図る。</p>	共通研修 「中堅教諭としての役割」	小・中・特支学校の 10年経験者(11年目)	講話 及び 演習
	5月～ 2月		教科指導少人数グループ研修		
	9/1		生徒指導少人数グループ研修		
	5月～ 2月		選択研修 任意の研修を選択		
15年次相当教員研修	通年	中堅教員として多様化する教育課題に適切に対応できる広い視野と実践的指導力を身につける。	希望による研修講座から1日分を選択して受講する	小・中・特支学校の 15年目教員（養護及 び栄養教諭等）及び 希望対象者	
管外転入教員研修	7/9	本市の教育の現状と課題について理解し、実践への意欲と教員としての自覚を高める。	本市の教育課題とこれまでの取組	管外転入教員	講話

2 希望による研修（専門研修）

（1）教育課題等への対応研修

研修・講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	対象	備考	
人権教育研修講座	1	8/4	教育の本質に根ざした人権教育を推進するため、人権にかかわる教育課題に対する理解を深め、指導力の向上を図る。	全教職員	講話及び演習	
	2	8/19				多文化共生について考える
	3	8/20				LGBTQ
	4	8/23				子どもの権利条約 ヤングケアラー
一般教養研修講座	7/27	社会の動向等、教育界だけでなく他の領域の知恵に学び、視野を広げる。	「新聞記者になろう」			
学校飼育動物研修講座	未定	学校・園内での飼育動物について、管理や繁殖、施設や環境を知り、幼児・児童によりよい体験を与える環境について学ぶ。	飼育動物の取り扱いについての留意点	全教職員	講話及び演習	
情報モラル・セキュリティ研修講座	未定		モラル・セキュリティー入門			
校務支援システム活用研修講座	小学校	未定	校務支援システムの活用方法の基礎を習得し、効率的に業務の遂行を図る。	全教職員	講話及び演習	
	中学校	未定				スズキ校務による名簿作成・日々の様子等について
ICT活用研修講座	8/18	ICTを効果的に活用する授業方法について学ぶ。	クロームブックの基本的な操作(1)			
	8/19		クロームブックの基本的な操作(2)			
プログラミング教育研修講座	8/6	小学校プログラミング教育の基礎的な知識・スキルの習得。	小学校プログラミング教育 入門編			
食育研修講座	未定	子どもの食に係る課題を認識し、理解を深めるとともに、食育の指導力を高める。	成長期の食について			
就学前教育研修	第1回	8/25	小学校就学前教育について知り、指導力を高める。	就学前教育に携わる幼稚園・保育園・保育所等の教職員および小学校教員	講話	
	第2回	未定	就学前教育の具体的な内容について理解を深め、指導力の向上を図る。			就学前教育について【実践編】
子ども理解のための研修講座	1	7/30	教育的支援を要する子どもたちの教育における理論と実践について、理解を深める。	全教職員	講話及び演習	
	2	8/5	児童生徒の問題行動や不登校の児童生徒の実態を把握し、支援の在り方について理解を深める。			不登校を防ぐための人間関係づくりを大切にしたいクラス経営
インクルーシブ教育研修講座	8/5	特別な支援を必要とする子どもたちに対する理解を深めるとともに、具体的な事例を通して、実践的な対応力の向上を図る。	インクルーシブ教育をふまえた学校づくり	全教職員	講話及び演習	
学級集団づくり研修講座 学級経営	1	未定	子どもたちの学校生活の居場所となる学級の経営について理解を深め、学級力の向上を図る。			
学級集団づくり研修講座 野外活動体験	2	未定	体験活動を通して、他者に対する思いやりの心や協調性などの社会性を育む指導力の向上を図る。			

(2) 教科等の指導力向上をめざした研修

研修・講座名	実施時期	目的	内容(研修テーマ等)	対象	備考
授業力向上研修講座	8/4	「授業デザイン 3つの視点」を活かした授業実践を行い、「主体的・対話的で深い学びの実現を目指す	「授業デザイン 3つの視点」活用術	全教職員	講話及び演習
道徳教育研修講座	(1) 8/5	「特別の教科 道徳」の授業づくり	(中学校向け)「教科」時代の道徳科授業を創る	道徳教育推進教員	講話及び演習
	(2) 8/6		(小学校向け)「教科」時代の道徳科授業を創る		
国語科教育研修講座	(1) 7/27	国語科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	(小学校向け) 主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業について		
	(2) 8/19		(中学校向け) 主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業について		
図書館教育研修講座	未定	子どもの読書習慣の確立や読書指導の充実を図る。	学校における多様な読書活動の展開		
社会科教育研修講座	8/6	社会科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	授業実践を持ち寄って「ポットラックパーティー」		
算数科教育研修講座	7/26	新しい教育課題に取り組み、児童の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	(小学校向け) 楽しい算数授業の創り方		
数学科教育研修講座	8/18	数学に関する専門性を深めるとともに、生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	(中学校向け) 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する手立てを考える		
理科教育研修講座	未定	理科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	実験や観察で気をつけたいこと		
アプローチ・スタートカリキュラム研修講座	1	未定	(生活科に関すること) 生活科授業デザインの方法とその実際		
	2		(造形に関すること) 色・形・手触りを楽しむ		
	3		(音楽に関すること) 音を楽しむ		
幼児教育研修講座	1	8/5	特別支援教育の視点に立った幼児教育	全教職員	講話及び演習
	2	8/24	幼児期の子どもの特性について理解を深め保育・授業における指導の充実を図る。		
	3	8/30	絵画実技指導 音楽実技指導		
音楽科教育研修講座	未定	表現・鑑賞の活動を通して、音楽の基礎的な指導技術を学び、指導力の向上を図る。	表現と鑑賞の指導について		
図工・美術科教育研修講座	8/10	図工・美術科に関する専門性を深めるとともに、造形的な創作活動について研修し、指導力の向上を図る。	「主体的・対話的で深い学び」につながる導入の在り方		
体育科教育研修講座	7/28	体育科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す実技指導の技術を身につけ、指導力の向上を図る。	リズムジャンプ指導法		
外国語・英語科教育研修講座	7/28	英語科指導に関する専門性を深めるとともに、児童・生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し指導力の向上を図る。	児童・生徒の自己肯定感を高める英語授業		
特別活動研修講座	未定	特別活動の指導内容と方法について研修し、指導力向上を図る。	特別活動の指導のあり方		
技術科教育研修講座	8/18	技術科の授業実践を図る技術を習得する。	ブログ技術、計測制御の実習		
家庭科教育研修講座	7/29	家庭科の授業実践を図る技術を習得する。	キャッシュレス決済の種類と仕組み		
幼稚園研究会との連携研修	未定	幼児期の子どもの特性について理解を深め保育・授業における指導の充実を図る。	幼稚園研究会との連携研修		
小中学校教科等研究会との連携研修	7月～2月	見本となる授業とその研究協議を通して、個々の授業力や指導力を高める。	小中学校教科等研究会との連携研修		
教育総合センター研究発表会	未定	研究成果を発表し、学校・園及び関係機関での研究推進と教育実践の参考に資する。	各研究部会による研究成果の発表等		

3 研究部会

研修・講座名	実施時期	目的	内容	対象	備考
授業力向上研究部会	通年	平成30年度より開始された「あまっ子ステップ・アップ調査」の結果を分析するとともに、学力向上のPDCAサイクルの一部としてどのように活用できるのかを実践的に研究し、各学校における学力向上の取組の改善を図る。	・各学校の担当者が、「あまっ子ステップ・アップ調査」の結果を多様な観点から分析し、それを踏まえた自校の学力向上の取組について研究し、学校間で有効な取組の共有を図る。	小・中学校 各校より選任	講話及び 演習
I C T活用推進部会	通年	児童生徒1人1台のPCを活用した先進的な事例を学んだり、市内の学校間で取組を共有したりすることで、自校において「チーム学校」として、より効果的にICT機器の活用を推進していけるようにする。	・「チーム学校」として全ての教職員がICTを活用する中で、「授業改善の質的改善」及び「基礎学力の向上」を図る方法について、市内で交流・共有を図る。	小・中・特支学校 各校より選任	講話及び 演習
探究的な学習研究部会	通年	探究的な学習の手法の一つである、問題解決型学習に取り組むことで、児童・生徒の資質能力の向上を目指す。問題解決型学習 (Problem Based Learning) とは、児童・生徒が学習していく過程で生じる疑問・問題に対して試行錯誤しながら活動する手法である。	・探究的に学ぶ授業方法を研究すると共に、各教科の中で情報活用能力を育成する。	小・中・高等学校 より選任	講話及び 演習
体力向上研究部会	通年	体力向上と運動意欲の向上に向け、授業でのウォーミングアップ時に取り組むことが可能なプログラム「リズムジャンプ」についての研究を行う。また、保育園・幼稚園・小学校・中学校と継続的に行うことにより、子どもたちの体力向上を目指す。	・リズムジャンプトレーニングを取り入れた授業作りを行う。 ・幼・小・中学校への継続的な取組を、モデル地区で行う。	幼・小・中学校 より選任	講話及び 演習

8 研修担当分担表

種別	中分類	令和3年度 研修・研修講座名	内容・領域	担当者						
				尾之内	吉向	林	後藤	西谷		
職に階たに研修	校長研修	第1回	性暴力の被害研修	○				○		
		第2回	危機管理事例研修							
	園長研修		園経営課題研修	○				○		
	新任校・園長研修		校・園長の職務	○				○		
	教頭研修		学校経営課題（教員の育成 OJT） 幼稚園教諭対象	○				○		
	新任教頭研修		実務に関する対応研修（シリーズ）		○					
	(新任)管理職コンピュータ研修		ネットワークを利用した校務処理	○						
	職務に応じた研修	教務担当者研修		地域に開かれた教育課程			○			
		研究担当者研修		校内研究の推進方法	○		○			
		生徒指導担当者研修		いじめ予防研修	○					
		養護教諭研修		養護教諭の職務等に関する研修		○				
		栄養教諭 学校栄養職員研修 ※食育研修講座を兼ねる		栄養教諭の職務等に関する研修				○		
		特別支援教育コーディネーター研修		特別支援教育の充実を図るための研修(実践交流)			○			
		学校事務職員研修		学校事務職員の職務等に関する研修				○		
教育用コンピュータシステム管理担当研修			教育用コンピュータシステムの管理と運用	○						
体罰防止研修		管理職		体罰防止マネジメント研修	○					
		部活動		体罰防止指導方法研修					○	
	教職員		体罰防止アンガーマネジメント・ストレスコントロール研修							
受講しなければならない研修（基本研修）	職年数に応じた研修	臨時の任用教員等資質向上研修	第1回	尼崎市の教育事情、授業と評価	○					
		第2回								
	1年目教員必修研修	第1回		尼崎の教育、ICT（環境・教育）、接遇						
		第2回		救命救急法、体験研修、学校経営						
		第3回		あまよう特別支援学校の授業参観、体験研修、教育における合理的配慮について、授業のユニバーサルデザイン化						
		第4回		校務支援（評価等）、情報モラル教育、「特別の教科 道徳」の指導						
		第5回		学校事故・アレルギー疾患への対応への基本 ティーチャーズ・トレーニング						
		第6回		特別活動（クラブ活動を含む）、授業実践研修						
		第7回		尼崎の地域・歴史・尼崎城 他	○	○				
		第8回		生徒指導について、授業実践研修						
		第9回		カウンセリングマインドに基づいた教育相談の意義と役割、教科の指導、授業実践研修						
		第10回		尼崎の人権教育、LGBTについて、教科指導におけるICTの活用						
		第11回		授業実践研修						
		第12回		魅力ある授業づくりについて、授業実践研修						
第13回		他業種に学ぶ、授業実践研修								
第14回		校務支援（評価等）、情報モラル教育 2年次研修に向けて、学習評価								
2年次教員研修	共通研修・グループ		研修の概要、授業づくり等について、グループ授業実践研修①							
	グループ		グループ授業実践研修②（指導案、レポート等をもとに実践交流）							
	グループ		グループ授業実践研修③（代表者による公開授業、事後研究会）							
	選択研修		教科等の研修講座から3つ選択して受講する			○				
	共通研修		異校種交流研修 異なる校・園種との連携（授業参観、TTによる授業実践研修等）				○			
3年次教員研修	共通研修・グループ		研修の概要、授業づくり等について、グループ授業実践研修①							
	グループ		グループ授業実践研修②（指導案、レポート等をもとに実践交流）							
	グループ		グループ公開授業研修（代表者による公開授業、事後研究会）							
	選択研修		学び支援課が指定した研修から1講座を受講							
5年次相当教員研修	選択研修		希望による研修講座から1日分（半日は2つで1日とする）選択				○			
中堅教諭等資質向上研修	共通研修		中堅教諭としての役割	○						
	選択研修		教科に関する研修講座等から選択							
15年次相当教員研修	選択研修		希望による研修講座から1日分（半日は2つで1日とする）選択				○			
管外転入教員研修			本市の教育課題とこれまでの取り組み		○					

種別	中分類	令和3年度 研修・研修講座名	内容・領域	担当者					
				尾之内	吉向	林	後藤	西谷	
希望による研修(専門研修)	教育課題等への対応研修	人権教育研修講座	(1) 多文化共生について考える						
			(2) LGBTQ						
			(3) 子どもの権利条約				○		
			(4) ヤングケアラー						
		一般教養研修講座	「新聞記者になろう」	○					
		学校飼育動物研修講座	飼育動物の取り扱いについての留意点	○					
		情報モラル・セキュリティ研修講座	モラル・セキュリティー入門	○					
		校務支援システム研修講座	小学校編	スズキ校務における各種名簿作成、日々の様子、生徒指導等	○				
			中学校編						
		ICT活用研修講座	キックスタープログラム コア研修	○					
		プログラミング教育研修講座	小学校プログラミング教育 入門編	○					
		食育研修講座	成長期の食について				○		
		就学前教育研修	第1回	就学前教育について【理論編】	○				
			第2回	就学前教育について【実践編】				○	
		子ども理解のための研修講座	(1)	ゲートキーパー入門講座・子どものSOSをキャッチする		○	○		
			(2)	不登校を防ぐための人間関係づくりを大切にしたいクラス経営	○				
	インクルーシブ教育研修講座	インクルーシブ教育をふまえた学校づくり		○					
	学級集団づくり研修講座 学級経営	(1)	学級集団づくりについて				○		
	学級集団づくり研修講座 野外活動体験	(2)	野外活動に関する体験研修				○		
	教科等の指導力向上を目指した研修	授業力向上研修講座	「授業デザイン 3つの視点」活用術	○					
道徳教育研修講座		「教科」時代の道徳科授業を創る			○				
国語科教育研修講座		主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業について			○				
図書館教育研修講座		学校における多様な読書活動の展開	○						
社会科教育研修講座		授業実践「ポトラックパーティー」	○						
算数科教育研修講座		(小学校教員向け) 楽しい算数授業の創り方		○					
数学科教育研修講座		(中学校教員向け) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価		○					
理科教育研修講座		実験や観察で気をつけたいこと		○					
アプローチ・スタートカリキュラム研修講座 (幼児期と児童期の接続期教育研修講座)		(1)	(生活科に関すること) 生活科授業デザインの方法と実際	○					
		(2)	(造形に関すること) 色・形・手触りを楽しむ						
		(3)	(音楽に関すること) 音を楽しむ						
幼児教育研修講座		(1)	特別支援教育の視点に立った幼児教育	○					
		(2)	絵画実技指導						
		(3)	音楽実技指導						
音楽科教育研修講座		表現と鑑賞の指導について		○					
図工・美術科教育研修講座		「主体的・対話的で深い学び」につながる導入の在り方			○				
体育科教育研修講座		リズムジャンプ指導法			○				
外国語・英語科教育研修講座		児童・生徒の自己肯定感を高める英語授業			○				
特別活動研修講座		特別活動の指導のあり方			○				
技術科教育研修講座		プログル技術、計測制御の実習		○					
家庭科教育研修講座	キャッシュレス決済の種類と仕組み			○					
会科等の連携研究	幼稚園研究会との連携研修	幼稚園研究会との連携研修	○			○			
	小中学校教科等研究会との連携研修	小中学校教科等研究会との連携研修				○			
研究部会	教育総合センター研究発表会	各研究部会による研究成果の発表会			○		藤井 瀧本 雨宮		
特別研修	特別臨時研修(指導員・指導主事研修等)	課題に対応した研修	○						
先進的自主研究	研究部会	授業力向上研究部会					藤井		
		ICT活用推進部会					瀧本		
		探究的な学習研究部会					雨宮		
		体力向上研究部会			○				
	学びの先進サポート事業	自主研究グループ支援					小谷		
	短期派遣研修					小谷			

9 文部科学省・県教委等の実施する研修一覧

主催	研修名・講座名	対象
・文部科学省 ・独立行政法人 教職員支援 機構研修	中央研修	全校園種教員
	海外派遣研修	
	特別研修	
	英語教育推進リーダー中央研修	
県立特別支援 教育センター	新任特別支援学級担当教員等研修	小・中学校の新任特別支援学級担当教員
	通級指導教室担当教員等研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員 等
	リーダー研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員 等
	インクルーシブ教育システム構築研修	特別支援学校教員、幼・小・中・高等学校の特別 支援教育担当教員（市・学校等からの推薦により 受講）
	発達障害教育研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員 等
	サポート研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員 等
県立教育研修所	高等学校初任者研修	令和3（2021）年度採用高等学校教員
	高校教員2年次研修講座	令和2年（2020）年度採用高等学校教員
	高校教員3年次研修講座	令和元（2019）年度採用高等学校教員
	高等学校中堅教諭等資質向上研修	平成23（2011）年度採用高等学校教員
	一般研修講座	全校園種教員
	職務研修講座	全校園種教員
	自由研修	令和3（2021）年度採用
	学校経営研修講座	小・中・特別支援学校校長
県教育委員会	学校管理職・教育行政職特別研修	令和3（2021）年度採用 小・中・特別支援学校教頭
	阪神地区学校経営研究協議会（校長）	小・中・特別支援学校校長
	阪神地区学校経営研究協議会（教頭）	小・中・特別支援学校教頭
	学校管理職（校長）研究協議会	高等学校校長
	学校管理職（教頭）研究協議会	高等学校教頭
	新任校長学校経営研修講座	令和3（2021）年度採用高等学校校長
	幼稚園等新規採用教員研修	令和3（2021）年度採用幼稚園教員
	幼稚園等中堅教諭等資質向上研修	平成23（2011）年度採用幼稚園教員
	養護教諭・栄養教諭経験者研修 （新規採用10年次）	平成24年（2012）年度採用 小・中・特別支援学校の10年目養護教諭・栄養 教諭
	市町立学校主幹教諭研修会	令和3（2021）年度登用主幹教諭
	市町立学校臨時的任用教員及び 任用候補者研修会	臨時的任用教員
	兵庫教育大学大学院派遣	小・中・特別支援・高等学校教員
	大学と連携した英語指導力向上事業	小・中・高等学校（県費）教員

10 令和2年度 研修報告

1 受講しなければならない研修（基本研修）

(1) 職階に応じた研修（職階別研修）

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
	月	日	曜					
園長研修	9	7	月	講話 (Zoom)	「Society5.0時代の学校の在り方について」	熊本大学大学院教育学研究科 准教授	前田 康裕	71
校長研修	(1)	2	4	木	講話 (Zoom)	「インクルーシブ教育について」 「心の教育について」	尼崎市立下坂部小学校 校長 尼崎市立園田東中学校 校長	42
		2	8	月				17
新しい「尼崎市特別支援教育基本方針」伝達研修	2	16	火	講話 (Zoom)	「インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育のあり方について」	特別支援教育担当 指導主事 特別支援教育担当 指導主事	吉識 泰士 藤田 孝幸	59
教頭研修	9	15	火	講話 (Zoom)	「1人1台PC環境での管理職/指導主事の役割について」	情報通信総合研究所 特別研究員	平井 聡一郎	60
指導主事研修								
新任教頭研修 (新任管理職PC研修を含む)	7	2	木	講話 (Zoom)	「教頭の実務について」 「生徒指導事案に関わる初期対応について」 「学籍事務・修学援助について」 「特別支援学級編成に係る事務手続きについて」 「学校給食に係る食物アレルギーについて」 「ネットワークを活用した校務処理」	教育総合センター 所長 いじめ防止生徒指導担当 指導主事 学事課 調理師 学事課 事務員 特別支援教育担当 係長 保健体育課 指導主事 学校給食課 小学校給食担当 学び支援課 指導主事	平山 直樹 守屋 貴哉 吉平 智美 永井 優 神保 玲子 堂前 真衣子 中庭 幸恵 森井 崇	18

(2) 職務に応じた研修（職務別研修）

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
教務担当者研修	11	30	月	講話 (Zoom)	「新指導要録と学習評価の在り方について」	京都大学大学院 教育学研究科 准教授	石井 英真	59	
研究担当者研修	12	10	木	講話 (Zoom)	「ICT・シンキングツールを活用した授業研究について」	関西大学 総合情報学部 教授	黒上 晴夫	59	
生徒指導担当者研修	1	21	木	講話 (Zoom)	「児童生徒と教師のこころを守るために～SOSの受け止め方～」	防衛医科大学校 元教授 NPO法人「リフターズ」 トレーニングアドバイザー	高橋 聡美	59	
就学前教育研修	(1)	12	25	金	講話 (Zoom)	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた幼保小接続について～互恵性のある連携推進を目指して～」	岐阜聖徳学園大学 教育学部 教授	西川 正晃	100
		1	8	金					「一人一人の教育ニーズに応じた主体的活動に向けた具体的支援について～チームとして取り組む園内支援体制の充実～」
養護教諭研修	2	19	金	講話 (Zoom)	「学校で性暴力被害がおこったら」	NPO法人性暴力被害者支援センター・ひょうご 理事長	田口 奈緒	66	
栄養教諭研修 ※食育研修講座も兼ねる	3	12	金	講話 (Zoom)	「日本山村硝子株式会社で生産されるきらきらべじについて」	日本山村硝子株式会社 研究開発センター長 日本山村硝子株式会社 博士（農学）	木村 周二 小山 竜平	42	
特別支援 コーディネーター 研修	(1)	9	24	木	講話 (Zoom)	「特別支援教育コーディネーターとしてのより効果的な活動を目指して」	大庄北中学校 教諭	三木 美紀	47
		2	25	木					「インクルーシブ教育システム構築のための特別新教育のあり方について」 「トライアングルプロジェクトについて」
教育用 コンピュータシステム 管理担当研修	小	5	18	月	講話 (Zoom)	「尼崎市のネットワーク環境等について」	学び支援課 教育情報担当	米田 浩	63
		中高	5	20					水

(3) 経験年数に応じた研修（経験年数別研修）

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
1年目教員必修研修	第1回	4	21	火	講話 (Zoom)	「教職員としての心構え・服務」 「尼崎市の教育」「尼崎市のICT環境」 「教職員としての接遇」	HV教育エンタープライズ 代表 学び支援課 課長 学び支援課 教育情報担当 係長 学び支援課 研修担当 指導主事	橋場 由見子 桐山 勉 瀧本 晋作 小林 誠一郎	44
	第2回	5	19	火	講話 (Zoom)	「救命救急法について」(動画視聴) 「学級経営について」	尼崎市教育委員	仲島 正教	35
	第3回	5	26	火	講話 (Zoom)	「校務支援ソフトの活用・情報モラルについて」 「特別な教科 道徳の授業づくりについて」	学び支援課 教育情報担当 係長 学び支援課 教育情報担当 四天王寺大学 教授	瀧本 晋作 米田 浩 杉中 康平	35
	第4回	6	16	火	講話 (Zoom)	「あまよう特別支援学校の教育について」 「特別支援教育の視点を取り入れた授業作り」 「特別支援教育について」	尼崎市立あまよう特別支援学校 校長 尼崎市立あまよう特別支援学校 専任コーディネーター 特別支援教育担当 指導主事	小寺 英樹 上村 美里 吉識 泰士	37
	第5回	6	30	火	講話 (Zoom)	「魅力ある授業づくりについて」 「子どものつまずきに気づく～ティーチャーズトレーニングをとおして～」	学び支援課 課長 NPO法人 ラヴィータ研究所 理事長	桐山 勉 米田 和子	35
	第6回	7	7	火	講話 (Zoom)	「学校事故およびアレルギー疾患への対応について」 「クラス全員が輝く授業づくり・学級づくり」	保健体育課 指導主事 尼崎市立七松小学校 教諭	堂前 真衣子 中野 穰	35
	第7回小	7	28	火	講話 (Zoom)	「教科等の指導におけるICTの活用」 「簡単、楽しく、プログラミング教育」	学び支援課 教育情報担当 尼崎市立園田小学校 教諭	米田 浩 林 孝茂	27
	第7回中	7	29	水	講話 (Zoom)	「特別活動(クラブ活動を含む)」 「授業実践研修」	保健体育課 係長 学び支援課 研修担当 指導主事	橋口 裕司 小林 誠一郎	10
	第8回小	9	8	火	講話 演習	「生徒指導について」 「国語科の指導」	いじめ防止生徒指導担当 指導主事 桃山学院教育大学 教授	守屋 貴哉 今宮 信吾	26
	第8回中	9	8	火	講話 演習	「生徒指導について」 「主体的・対話的で深い学び」	いじめ防止生徒指導担当 指導主事 大阪教育大学大学院 准教授	守屋 貴哉 寺嶋 浩介	9
	第9回小	9	15	火	講話 演習	「カウンセリングマインドに基づいた教育相談の意義と役割」 「算数科の指導」	こども教育支援課 指導主事 全国算数授業研究会 常任理事 関西大学初等部 教諭	片村 文亨 尾崎 正彦	26
	第9回中	9	15	火	講話 演習	「カウンセリングマインドに基づいた教育相談の意義と役割」 「教科指導におけるICTの活用」	こども教育支援課 指導主事 学校ICT推進担当	片村 文亨 米田 浩	9
	第10回小	10	6	火	講話 演習	「人権教育について」 「外国語活動の指導」	学校教育課 指導主事 尼崎市立園田東小学校 教諭	堀 祐輔 手嶋 浩之	26
	第10回中	10	6	火	講話 演習	「人権教育について」 「授業実践研修」	学校教育課 指導主事 尼崎市立塚口中学校 教諭 尼崎市立塚口中学校 教諭 尼崎市立塚口中学校 教諭 尼崎市立塚口中学校 教諭	堀 祐輔 日野 祐南 岡田 智恵子 西村 祐紀 兒玉 永	9
第11回小	11	17	火	講話 演習	「シチズンシップ向上プログラム ATF IIについて」 「授業実践研修」	生涯・学習！推進課 係長 学び支援課 研修担当 指導主事	山添 杏子 森井 崇	13	
	11	24	火	講話 演習	「シチズンシップ向上プログラム ATF IIについて」 「授業実践研修」	生涯・学習！推進課 係長 学び支援課 研修担当 指導主事	山添 杏子 森井 崇	14	
	11	10	火	講話 演習	「シチズンシップ向上プログラム ATF IIについて」 「授業実践研修」	生涯・学習！推進課 係長 学び支援課 研修担当 指導主事	山添 杏子 小林 誠一郎	1	
第11回中	11	17	火	講話 演習	「シチズンシップ向上プログラム ATF IIについて」 「授業実践研修」	生涯・学習！推進課 係長 学び支援課 研修担当 指導主事	山添 杏子 小林 誠一郎	4	
	11	24	火	講話 演習	「シチズンシップ向上プログラム ATF IIについて」 「授業実践研修」	生涯・学習！推進課 係長 学び支援課 研修担当 指導主事	山添 杏子 小林 誠一郎	5	
	1	26	火	講話 見学	「尼崎の地域・歴史・尼崎城」	歴史博物館 係長	桃谷 和則	35	
第13回	2	2	火	講話 演習	「授業実践研修」(実践報告) 「他業種に学ぶ」	学び支援課 研修担当 指導主事 学び支援課 研修担当 指導主事 株式会社ふたご自転車 代表取締役	小林 誠一郎 森井 崇 中原 美智子	35	
第14回	2	9	火	講話 演習	「評価について」 「学習者理解・学習指導のための教育評価」	学校教育課 指導主事 大阪教育大学大学院 准教授	尾之内 潤 寺嶋 浩介	35	

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
2年次教員研修	第1回 小中	5	29	金	講話 (Zoom)	「いじめ対応策の持つ意味」 グループ授業実践研修	いじめ防止生徒指導担当 係長 学び支援課 研修担当 指導主事	廣田 誠 小林 誠一郎	51
	第2回 中	7	29	水	講話 演習 (Zoom)	教科グループ授業実践研修	学び支援課 研修担当 指導主事	小林 誠一郎	10
	第2回 小	1 1 1 2	14 18 21 4	木 月 木 木	演習 (Zoom)	授業力向上研修 授業実践交流	学び支援課 研修担当 指導主事	小林 誠一郎	41
	第3回 小	1 2 2 2	20 5 15 17	水 金 月 水	演習 (Zoom)	授業力向上研修 授業実践交流	学び支援課 研修担当 指導主事	小林 誠一郎	41
	第3回 中	11 11 11	10 17 24	火	演習 (Zoom)	授業力向上研修 授業実践交流	学び支援課 研修担当 指導主事	小林 誠一郎	10
	第4回 小中	通年			講話 授業参観	異なる校・園種との連携 (TIによる授業及び実践等)	異なる校・園種との連携 (TIによる授業及び実践等) 各所属からの担当者を指導教官とする。		51
3年次教員研修	小第1回 特回	6	15	月	講話 (Zoom)	「いじめ対応策の持つ意味」 グループ授業実践研修	いじめ防止生徒指導担当 係長 学び支援課 研修担当 指導主事	廣田 誠 森井 崇	50
	第2回 中	7	29	水	講話 演習 (Zoom)	教科グループ授業実践研修	学び支援課 研修担当 指導主事	小林 誠一郎	17
	第2回 小	10 1 1 1	29 12 14 22	木 火 木 金	演習 (Zoom)	授業力向上研修 授業実践交流	学び支援課 研修担当 指導主事	森井 崇	33
	第3回 小	11 2 2 2	12 4 5 18	木 木 金 木	演習 (Zoom)	授業力向上研修 授業実践交流	学び支援課 研修担当 指導主事	森井 崇	33
	第3回 中	11 11 11	10 17 24	火	演習 (Zoom)	授業力向上研修 授業実践交流	学び支援課 研修担当 指導主事	小林 誠一郎	17
5年次相当教員研修	通年			講話 演習	授業力・指導力向上研修	各自研修に参加		78	
中堅教諭等資質向上研修	5	13	水	講話 (Zoom)	「子どものつまずきに気づく ～ティチャーズトレーニングをとおして」 少人数グループ研修	NPO法人ラヴィータ研究所 理事長 学び支援課 研修担当 係長	米田 和子 福山 圭介	66	
	9	2	水	演習 (Zoom)	生徒指導事例の交流	いじめ防止生徒指導担当 指導主事 学び支援課 研修担当 係長	川西 勝 福山 圭介	66	
	12	10	木	講話 演習	授業力向上研修 実践交流と公開授業事前研修	学び支援課 研修担当 係長 学校教育課 指導主事	福山 圭介 尾之内 潤	66	
15年次相当教員研修	通年			講話 演習	ミドルリーダーとしての資質向上 (今日的な教育課題等)	各自研修に参加		48	
管外転入教員等研修	7	9	木	講話 (Zoom)	「本市教員に望むこと」	教育総合センター 所長	平山 直樹	23	

2 希望による研修（専門研修）

(1) 教育課題等への対応研修

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
人権教育研修講座	(1)	8	3	月	講話 (Zoom)	「子どもたちの明るい未来のために」	いじめ防止生徒指導担当 係長	廣田 誠	126
	(2)	8	4	火	講話 (Zoom)	「あなたの身近にもいるLGBT～男女やLGBTだけじゃない！性のあり方は十人十色～」	フリーランス	井上 鈴佳	902
	(3)	8	5	水	講話 (Zoom)	「多文化共生について考える」（ヘイトスピーチについて）	特定非営利活動法人 コリアNGOセンター 代表理事	郭 辰雄	13
食育研修講座 ※栄養教諭研修も兼ねる		3	12	金	講話 (Zoom)	「日本山村硝子株式会社で生産されるきらきらべじについて」	日本山村硝子株式会社 研究開発センター長 日本山村硝子株式会社 博士（農学）	木村 周二 小山 電平	42
子ども理解のための 研修講座	(1)	8	4	火	講話 (Zoom)	「ゲートキーパー入門講座～子どものSOSをキャッチする～」	NPO法人 ゲートキーパー支援センター 理事長	竹内 志津香	43
	(2)	8	7	金	講話 (Zoom)	「困っている子どもの理解と支援」	立命館大学 教授	宮口 幸治	112
一般教養研修講座		8	6	木	講話 (Zoom)	「若者が消費者被害にあう心理学的要因について」	広島大学 准教授	有賀 敏紀	25
学校飼育動物研修講座		1	15	金	講話 演習	「学校飼育動物飼育講習会」	一般社団法人 尼崎市開業獣医師会 代表理事 学校飼育動物委員会 委員長 学校飼育動物委員会 副委員長	大松 健 村上 義久 石川 知也	6
情報モラル研修講座		8	7	金	講話 (Zoom)	「情報社会を生きる市民の一人としての資質を育む新たな情報モラル教育の指導法」	情報モラル教育アドバイザー	今度 珠美	43
ヤングケアラー研修会		8	5	水	講話 (Zoom)	「ヤングケアラー支援」	大阪歯科大学 准教授	濱島 淑恵	8
アセス研修(不登校)	(1)	8	5	水	講話 (Zoom)	「アセスについて」（基礎）	広島大学大学院 教授 公益社団法人 学校教育開発研究所 代表理事	栗原 慎二	135
	(2)	8	6	木	講話 (Zoom)	「アセスを効果的に活用する手法について」（実践編）	広島大学大学院 教授 公益社団法人 学校教育開発研究所 代表理事	栗原 慎二	111
部活動指導方法研修		1	22	金	講話 (Zoom)	「甲子園の負け方、教えます」	盛岡大学付属高等学校 教頭	澤田 真一	40
体罰防止研修	管理職	6	25	木	講話 演習 (Zoom)	体罰防止マネジメント研修	株式会社Meta-Design-Development	櫻井 直子	71 71
	部活動	7	10	金	講話 演習 (Zoom)	体罰防止指導方法研修	株式会社Meta-Design-Development	福住 昌子 鷲本 晴香	49 51
	教職員	7	3	金	講話 演習 (Zoom)	アンガーマネジメント・ストレスコントロール研修	株式会社Meta-Design-Development	鷲本 晴香	71 71

(2) 教科等の指導力向上をめざした研修

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
アプローチスタート カリキュラム研修講座		8	3	月	講話 (Zoom)	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた幼保小接続と連携について」	岐阜聖徳学園大学 教授	西川 正晃	42
国語科教育研修講座		8	5	水	講話 (Zoom)	「物語文の授業づくり」	桃山学院教育大学 教授	二瓶 弘行	200
書教育研修講座		1	12	火	研修	「かん字のはらい」「人」について」	神戸女子短期大学 教授	山内 有香子	35
算数科教育研修講座		8	3	月	講話 (Zoom)	「論理を鍛えれば算数は楽しくなる」	全国算数授業研究会 常任理事 関西大学初等部 教諭	尾崎 正彦	151
数学科教育研修講座		10	5	月	講話 (Zoom)	「主体的に学習に取り組む態度を育む授業と評価について」	姫路大学 准教授	榎並 雅之	31
理科教育研修講座		2	2	火	講話 (Zoom)	「具体的な授業場面を取り上げながら、指導と評価のあり方を検討する」	立命館大学 産業社会学部 准教授	野原 博人	18
体育科教育研修講座		11	6	金	講話 演習	「リズムジャンプの指導法」	美作大学 准教授	津田 幸保	34
技術科教育研修講座		7	24	金	講話 (Zoom)	「中学校におけるプログラミング教育の展開について」	宮城教育大学 教授 NPO法人「みんなのコード」 主任講師	安藤 明伸 竹谷 正明	16
家庭科教育研修講座 ※栄養教諭研修も兼ねる		3	12	金	講話 (Zoom)	「日本山村硝子株式会社で生産されるきらきらべじについて」	日本山村硝子株式会社 研究開発センター長 日本山村硝子株式会社 博士（農学）	木村 周二 小山 電平	42
外国語教育研修講座		12	3	木	講話 (Zoom)	「外国語の評価について」	園田学園女子大学 教授	衣笠 知子	42
道徳教育研修講座		8	7	金	講話 (Zoom)	「教科時代の道徳性を育む授業づくり」	四天王寺大学 教授	杉中 康平	74
幼児教育研修講座		8	6	木	講話 (Zoom)	「一人一人の子どもに寄り添った教育の展開」	関西国際大学 教授	中尾 茂樹	98
マイスター教員による 公開授業研修講座		12	12	火	研修	「ほり進めて刷り重ねて「卒業式に飾る花」」	尼崎市立大庄小学校 教諭	福田 裕美	22

3 研究部会

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
ステップ・アップ調査活用部会	(1)	4	28	火	講話 (Zoom)	「令和元年度あまっ子ステップ・アップ調査結果の報告」	ベネッセコーポレーション	大塚 晋平	58
	(2)	8	21	金	講話	講話「継続的な検証改善サイクルを実現するために」実践交流「今年度の取組について」	大阪教育大学大学院 教授 学び支援課 調査・研究担当 指導主事	木原 俊之 藤井 俊史	58
	(3)	10	1	木	講話 演習	講話「令和2年度あまっ子ステップ・アップ調査結果の報告」 実践交流「調査結果の分析と活用」	ベネッセコーポレーション 学び支援課 調査・研究担当 指導主事	大塚 晋平 藤井 俊史	58
ICT活用研究部会	(1)	6	29	月	講話 演習	「一人一台PC環境下での授業支援ソフトの活用について」 個人テーマ設定に向けての検討	大阪教育大学 准教授	寺嶋 浩介	6
	(2)	8	5	水	講話 演習	「授業支援システムを活用した授業づくり」 個人テーマ交流・2学期の授業プランの交流			6
	(3)	10	9	金	公開授業	立花西小学校 第5学年 社会科「あたたかい土地の暮らし」			18
	(4)	10	23	金	公開授業	下坂部小学校 第6学年 社会科「江戸幕府の政治の安定」			26
	(5)	11	5	木	公開授業	中央中学校 第3学年 社会科(公民分野)「裁判員制度と司法制度改革」	学校ICT推進担当 係長	瀧本 晋作 山下 陽一 米田 浩	19
	(6)	12	11	金	公開授業	公開授業④ 浦風小学校 第3学年 理科「じしゃくのふしぎ」	学校ICT推進担当		5
	(7)	12	15	火	公開授業	大庄中学校 第2学年 数学科「平行と合同」			13
	(8)	1	24	日	公開授業	尼崎北小学校 第1学年 音楽科「きょくをつくろう」 (※非常事態宣言のため校外への公開せず)			/
	(9)	2	24	水	実践発表	「本年度の研究部会の取組を振り返って」	大阪教育大学 准教授	寺嶋 浩介	6
STEAM教育研究部会	(1)	6	24	水	講話 演習	「教科横断的なSTEAM教育の実施について」 個人テーマ設定に向けての検討	東北学院大学 教授	稲垣 忠	6
	(2)	8	4	火	講話 演習	「探究/PBL(プロジェクト学習)型の授業づくり」 個人テーマ交流・2学期の授業プランの交流			5
	(3)	11	11	水	公開授業	尼崎双星高等学校 第1学年 情報科「情報通信ネットワークとコミュニケーション」			5
	(4)	11	20	金	公開授業	園田小学校 第5学年 総合的な学習の時間「バーチャル学校たんけん」	学校ICT推進担当 係長	瀧本 晋作 山下 陽一 米田 浩	5
	(5)	12	17	木	公開授業	園田小学校 第2学年 国語科「あったらいいな こんなもの」	学校ICT推進担当		5
	(6)	2	4	木	公開授業	塚口中学校 第3学年 技術・家庭科「ドローンで荷物を配達しよう」 (※非常事態宣言のため校外への公開せず)			/
	(7)	2	22	月	実践発表	「本年度の研究部会の取組を振り返って」	東北学院大学 教授	稲垣 忠	6
授業力向上研究部会	(1)	7	9	木	講話	「研究テーマ・方向性の決定・共有」			7
	(2)	8	3	月	講話	「研究の方向性について」	たつの市立新宮小学校 主幹教諭 学び支援課 調査・研究担当 指導主事	石堂 裕 小谷 隆宏	7
	(3)	10	29	木	講話	「実践事例作成に当たっての共通理解」			6
	(4)	2	18	木	講話	「実践事例の共有・改善」			6
体力向上研究部会	(1)	6	26	金	講話 演習	「研究テーマ・方向性の決定・共有」 「リズムジャンプトレーニング実技演習」	美作大学 准教授	津田 幸保	8
	(2)	7	20	月	講話 演習	「各校実施計画の共有」 「こどもの体力の変容をみる種目の決定」	学び支援課 研修担当 指導主事	小林 誠一郎	8
	(3)	11	6	金	講話 演習	「主運動につなげるリズムジャンプトレーニングについて」 各校実施状況の共有	美作大学 准教授	津田 幸保	8
	(4)	1	28	木	講話 演習	本年度のまとめ	美作大学 准教授	津田 幸保	8

4 特別に実施する研修

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
タブレット活用ファーストステップ研修	(1)	11	13	火	講話 演習	「Chromebook、G Suite for Educationの使い方について」	内田洋行株式会社 ICT支援員 運用コーディネーター	中 泰夫	101
	(2)	11	26	火	講話 演習	「ロイノート・スクールの使い方について」	内田洋行株式会社 インストラクター	野川 里香	98
特別臨時研修	11	30	月	講話	「あーよかったな 先生になって〜つながりと感動を合言葉に〜」	若手教師応援セミナー 「元気塾P.L.U.S.」代表	仲島 正教	65	
特別臨時研修	1	22	金	講話	「コロナ禍における高校生のメンタルヘルス～急増する若者の自殺を防ぐために」	防衛医科大学校 元教授 NPO法人「ライフサポートステーション」アドバイザー	高橋 聡美	65	

1 1 令和 2 年度 研究部会の概要報告

1 ICT活用研究部会

「学習支援ソフトの効果的な活用について

～1人1台コンピュータを使って～」

学校ICT推進担当 係長 瀧本晋作

研究員 吉仲 伸隆（尼崎北小）坂田 篤志（浦風小）
" 兒玉 崇（下坂部小）松尾 健太郎（立花西小）
" 吉田 満（大庄中）永野 浩隆（中央中）

【内容の要約】

本部会では、授業の中で1人1台のコンピュータを効果的に活用するための実証研究を行う。具体的には、コンピュータの使用場面を授業支援ソフトの活用にとり、教科や校種を越えた実践を交流・検証してきた。

その結果、授業支援ソフトを効果的に活用するためには、1人1人の学習者が自分の考えを「アウトプット」し、他者の考えを「インプット」という往還を行うこと、学習活動の効率化から多様化につなげること、情報活用能力を育成することなどが重要であると分かった。

2 STEAM教育研究部会

「教科横断的に情報活用能力を育てる

～STEAM教育の観点から～」

学校ICT推進担当 係長 瀧本晋作

研究員 吉見 響（大庄小）中島 響子（園田小）
" 林 孝茂（園田小）兒玉 永（塚口中）
" 猪飼 涼介（尼崎双星高）垣脇 健吾（尼崎双星高）

【内容の要約】

本部会では、STEAM教育の観点から、教科横断的に情報活用能力を育てることをねらいとした実証研究を行う。この際、小・中・高等学校の校種を跨いだ実践を交流し、その成果を普及することで、尼崎市全体で体系的に情報活用能力を育成していくことを目指す。

研究部員による実践授業では、一つの教科に閉じないような課題を設定した上で、単元が設計されていたことが共通していた。また、ICT機器や学習支援アプリを効果的に活用していたことも共通した特長として見られた。

3 授業力向上研究部会

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて

一 尼崎市版『授業改善の視点』を踏まえた教員の指導力向上を目指して 一

調査・研究担当 指導主事 小 谷 隆 宏

研究員 大 原 有 希 (金 楽 寺 小) 木 口 範 彦 (大 庄 小)
" 寺 岡 幸 治 (七 松 小) 林 誉 子 (園 和 小)
" 浅 野 尚 子 (潮 小) 南 坂 衛 (小 田 中)
皆 倉 陸 (園 田 中) 谷 綾 乃 (小 園 中)

【内容の要約】

本部会では、尼崎市版『授業改善の視点』（以下『授業改善の視点』）を、本市教員がより効果的に活用できるよう、その内容を具体化・焦点化し、児童の実態に即した授業実践事例を作成することとし、以下のように取り組んだ。

1. 『授業改善の視点』の基本理念について、共通理解を図る。
2. 『授業改善の視点』が持つ課題を洗い出し、これを授業実践へ落とし込むためには、何が必要かを明確にしていく。
3. 研究部員による授業実践。
4. 作成した授業実践事例案について研究部会で共有し、授業実践事例集を作成する。

4 体力向上研究部会

リズムで楽しく ウォーミングアップ！

一 幼児 児童 生徒の体力づくりおよび 体力向上を目指したリズムジャンプの活動実践 一

研修担当 指導主事 小 林 誠 一 郎

研究員 杉 本 か ん な (園 田 幼) 佐 々 木 藍 (武 庫 幼)
" 森 一 馬 (武 庫 の 里 小) 山 下 孝 成 (尼 崎 北 小)
芝 朋 来 (園 田 小) 浜 崎 伸 之 (武 庫 小)
米 田 正 樹 (常 陽 中) 佐 川 千 幸 (園 田 中)

【内容の要約】

本市の子どもの新体力テストの結果は、全国・県平均と比較すると低い水準にある。本部会では、楽しく運動しながら体力向上に繋がるプログラムづくりについての研究を行う。また同時に、授業でのウォーミングアップ時に取り組むことで、主運動に繋がる動作の獲得が容易になる運動プログラムを研究する。さらに、保育園・幼稚園・小学校・中学校と継続的に行うことにより、子どもたちの体力向上を目指すものとする。

本年度は、モデル地区を設定し実施した。(園田地区、武庫地区)

5 ステップ・アップ調査活用部会

「あまっ子ステップ・アップ調査」結果の分析・活用 ー 各学校における学力向上の取組の充実を目指して ー

調査・研究担当 係長 藤 井 俊 史

【内容の要約】

本部会は、市内の全小学校 41 校・中学校 17 校から推薦された教員が、平成 30 年度より開始された「あまっ子ステップ・アップ調査」の結果を分析し、自校の学力を向上させるための取組を検証し、改善させる方法を見出すことを目的とする。

具体的には、年度の初めに「あまっ子ステップ・アップ調査」の主旨や分析方法を確認して自校の取組を計画し【P】、夏休みには1学期の取組を振り返り、研究者の知見や他校との実践交流を通して改善を図り【D】、12月と1月に今年度の調査を受検【C】、今年度の調査結果を踏まえて、1年間の取組を振り返って次年度につなげる【A】といった連続研修を行ってきた。このように年間を通して「PDCAサイクル」を確立する実践的な研究の場を提供することで、各学校での学力向上に向けた取組の改善を図ってきた。

1 2 令和 2 年度 教科書センター事業報告

1 常時展示	開館時間	平日 9:00～21:00 (但し、土曜日、日曜日は閉館)
	展示教科書	小学校 昭和 40 年以降の教科書 中学校 昭和 37 年以降の教科書 高等学校 昭和 45 年以降の教科書
	その他	学校教育法附則第 9 条に基づく一般図書
2 法定展示	開館時間	令和 2 年 6 月 12 日 ～ 令和 2 年 7 月 1 日 (但し、土曜日、日曜日は閉館)
	展示教科書	令和 2 年度～令和 5 年度使用小学校用教科書 令和 3 年度～令和 6 年度使用中学校用教科書 令和 3 年度使用高等学校用教科書
	その他	学校教育法附則第 9 条に基づく一般図書

1 3 令和 2 年度 教育情報の収集・整理事業報告

1 各種教育資料の収集 (保有数)	
・ 教育関係図書	11,766 冊
・ 教育関係資料 (研究紀要・報告書)	62 冊
・ 雑誌収集	12 タイトル
2 教育広報活動	
・ 「教育総合センターだより」 (令和 2 年 5 月、9 月、12 月、令和 3 年 3 月の年 4 回発行)	No. 156 ～ No. 159
・ 「教育あまがさき」 (令和 2 年 10 月、令和 3 年 3 月の年 2 回発行)	第 86 号 ～ 第 87 号
3 各種刊行物の発行	
・ 教育研究報告書	紀要 58 号

(様式3)

第 号
令和 年 月 日

尼崎市立教育総合センター
学び支援課長 様

校・園名 尼崎市立
校・園長名 印

欠 席 届

みだしのことについて、次のとおり届けます。

1 研修・研修講座名 _____

2 研修実施日 令和 年 月 日 ()

3 対象者名 _____

4 欠席理由 ※校務の場合、本人でなければならない理由を明記する。

以 上